

センター在り方検討ワークショップ

■実施日

令和4年12月17日(土) 15時00分～17時00分

■場所

・鎌倉市役所 第三分庁舎 講堂

■対象者(定員:30名程度、先着順)

- ・鎌倉市内で活動する市民活動団体の構成員
 - ・自治会町内会で活動されている方
 - ・市内在勤、在住、在学の市民で希望する方
- ※参加していただきたい方については、事前に周知し、枠を押さえる。

■ワークショップの目的

- ◎次期指定管理期間の仕様書への反映(コーディネート機能増)
- ①アンケートでは聞き出せない本質的なニーズや困りごとの把握(ソフトの充実!)
- ②コーディネート機能を担う人材の具体的な人物像の検討

- ・市民活動団体の中間支援組織を担う「鎌倉市市民活動センター」のよりよい在り方を模索している中で、アンケートでは、現状の利用者(一部の登録団体)が8割超を占めたこともあり、定量的なアンケート調査では聞き出せない、市民活動を行ううえでの市民の「本質的なニーズや困りごと」を聞き出し、次期市民活動センターの望ましい役割や支援を模索すること。
- ・地域のつながり課では「団体のコーディネート機能」が重要と考えており、次期センターの指定管理の業務内容の根幹として盛り込みたい。
- ・限られたリソース(予算・人員)の中で最大限の効果を発揮するためには、市民の求められているニーズや課題をベースに支援内容を考える必要があるため、直接的で個別具体的なサービス内容を聞き取ることは目的としない。
- ・指定管理者と市民活動推進委員による意見交換(WG)では、ソフト機能が今後重要であるという見解で一致した。「指針」に定める「センターが果たす役割」を担う人材(コーディネーター)の具体的な人物像(スキル)はどのようなものか、それを実現するために必要な背景(予算やその他計画とのバランス)を検討すること。
- ・市民活動団体と親和性の高い自治会町内会からも参加者を募り、地域と様々な市民活動を行っている市民活動団体のつながりを促進するための交流も兼ねること。

■役割

- ・全体ファシリ・話題提供:藤沢市民活動推進機構 手塚明美様
- ・ファシリ補助:鎌倉市
- ・グループファシリ:グループに1~2人(市民活動推進委員)

■内容

1 オープニング（手塚様：合計10分）

ア 市から趣旨説明（鎌倉市：5分）

「指針」の配布と「センターが果たす役割」の図示
＝市はセンターをこうしたいと思っているという説明。

イ アイสบレイク（手塚様：5分）

自己紹介&グッドニュースなど

2 手塚様による話題提供（手塚様：15分）

- ・ 中間支援組織に求められるもの（市民活動団体の目線で）
- ・ 実際の相談内容やこれまでの経験に基づいて

3 アンケートの結果報告（鎌倉市：5分）

- ・ ポイント部分のみ絞り込んで報告

4 グループディスカッション（6人×6グループ：合計70分（休憩込み））

★手塚様から、KJ法での進め方について簡単に説明（5分）

- ・ 書き出し→共有→グルーピング（付箋重ねる）+ラベリング→順位付け
- ・ 短い言葉で。
- ・ 否定しない。
- ・ 無理に分類はしない。など。

ア センターで活動する上での困りごとの共有・発散（合計25分）

（センターを使っていない人の場合、どのような不都合があったか？）

：この段階では問題を解決することを前提とせず、とにかく出す。

★KJ法により参加者の思いや価値観をまとめていく

- ・ 個人で付箋に書き出し（5分）
- ・ グループ内で共有+グルーピング作業、順位付け（20分）
- ・ 推進委員がグループファシリを行い、話題が逸れないようにガイドする。
⇒「充実した相談機能が欲しい」というところに着地できると◎
ハード面での工夫に関する意見もあると良い。

※模造紙の左半分を使用

～休憩（5分）～

イ 手塚様による簡単なまとめと、ウにつなげる説明（5分）

- ★共有された困りごとは、どのような支援や場があれば改善できるか
→ウへ

ウ 中間支援組織に必要なコーディネーター像の検討

テーマ 「こんな人に相談したい。どんな人？」(合計25分)

- ・「指針」に定める「センターが果たす役割」(冒頭資料)を達成するために必要な人材はどんな人物?その人にどのように話を聞いてほしい?どのように伴走してほしい?

★引き続きKJ法を用いてアイデアや思いをまとめていく

- ・個人で付箋に書き出し(5分)
- ・グループ内で共有+グルーピング作業、順位付け(20分)
- ・推進委員がグループファシリを行い、話題が逸れないようにガイドする。
⇒スキル、経験、その背景(予算など)を可能な限り具体的にすると◎
※模造紙の右半分を使用

エ いいねシール3枚の貼付(5分)

- ・発表を聞くのではなく、自ら成果品を読みに行く。

オ 手塚様からの講評(5分)

手塚様から、どんな意見にシールが集まったかなどの簡単な講評

- ・シート作成にあたっての注意点(意見交換を通じて得た気づき、どんなセンターが望ましいか)などのご説明

5 シート作成(分析に盛り込む成果品)(5分)

- ・グループワークで発散した個人の思いを収束させ、成果物を残す記述式のシートを配布。個人作業。
本日のワークショップに参加して、
 - ・困りごとの解決には、どのような支援が必要か
 - ・より質の高い市民活動を行うには、どのような支援が望ましいと思ったか
 - ・満足度(「●●%」のように)
 - ・感想

6 クロージング(手塚様:5分)

- ・手塚様による振り返りとまとめ